



特別講演





宇津木 妙子

現職

NPO法人ソフトボール・ドリーム 理事長
 ビックカメラ女子ソフトボール高崎 シニアアドバイザー
 東京国際大学女子ソフトボール部総監督

略歴

1972 [S47] ユニチカ垂井(岐阜県)入社
 〔国内大会実績〕 〔国際大会実績〕
 全日本総合選手権：優勝2回 世界選手権大会(選手)2位
 全日本一般選手権：優勝3回 第1回世界ジュニア大会(コーチ)優勝
 全日本実業団選手権：優勝4回 ISFワールドカップ(コーチ)
 日本リーグ1部：優勝2回 日中米国際大会(コーチ、主将)

1985 [S60] ユニチカ垂井(岐阜県)退社
 1986 [S61] 日立高崎女子ソフトボール部 監督就任
 1987 [S62] 日本リーグ2部に昇格
 1988 [S63] 全日本実業団選手権優勝、日本リーグ2部優勝→1部昇格
 1990 [H2] 日本リーグ1部優勝
 第7回世界選手権大会(監督)5位、アジア競技大会(監督)2位
 アトランタオリンピック(コーチ)4位

1996 [H8]
 1997 [H9] 日本リーグ1部、全日本総合選手権、国民体育大会 優勝 【三冠達成】
 全日本監督就任(12月)
 1998 [H10] 第9回世界選手権大会 3位
 アジア競技大会 準優勝

2000 [H12] シドニーオリンピック 銀メダル
 2001 [H13] 第10回世界選手権大会アジア地区予選 優勝
 2002 [H14] 第10回世界選手権大会 準優勝
 アジア競技大会 優勝

2003 [H15] ※チーム名変更：日立&ルネサス高崎女子ソフトボール部 総監督就任
 日本リーグ1部、全日本総合選手権、国民体育大会 優勝 【三冠達成】
 2004 [H16] アテネオリンピック 銅メダル後に全日本監督退任
 2005 [H17] 国際ソフトボール連盟(ISF) 殿堂入り
 2007 [H19] ※チーム名変更：ルネサス高崎女子ソフトボール部
 2008 [H20] 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞(6月)
 北京オリンピック(金メダル) テレビ解説者
 日本リーグ1部、全日本総合選手権、国民体育大会優勝【三冠達成】

2009 [H21] 2009/2 総監督を退任し、シニアアドバイザー就任
 ※チーム名変更：ルネサステクノロジ高崎事業所女子ソフトボール部
 2010 [H22] 東京国際大学女子ソフトボール部総監督就任
 2011 [H23] NPO法人ソフトボール・ドリーム設立(設立日：2011.6月)
 2014 [H26] 世界野球ソフトボール連盟理事(2014.5月)
 2014 [H26] 文部科学大臣杯第49回全日本大学選手権大会 優勝(2014.9月)
 2015 [H27] ビックカメラ女子ソフトボール高崎 シニアアドバイザー就任
 ※チーム移管：ルネサスエレクトロニクス高崎事業所女子ソフトボール部
 →ビックカメラ女子ソフトボール高崎

【チームの成績】

日本女子ソフトボールリーグ1部	優勝 7回、準優勝5回
全日本一般女子選手権大会	優勝 2回、準優勝2回
全日本総合女子ソフトボール選手権大会	優勝 10回、準優勝3回
国民体育大会	優勝 6回
文部科学大臣杯第49回全日本大学選手権大会	優勝 1回

要職

2006 [H18] 4～ (財)日本ソフトボール協会 常務理事、普及委員長、国際委員
 2008 [H20] 4～ Team KAGAWA アドバイザー コーチ
 2009 [H21] 2～ 文部科学省 中央教育審議会 委員
 2009 [H20] 4～ 日本スポーツ少年団 副本部長
 2009 [H21] 4～ *日本スポーツマスターズ委員会 委員(シンボルスポートメンバー)
 2009 [H21] 10～ 2020東京オリンピック・パラリンピック招致委員会 参与
 2012 [H24] 10～ *アジアソフトボール連盟第一副会長
 2014 [H26] 4～ * (公財)日本ソフトボール協会副会長、国際委員長
 2014 [H26] 5～ *世界野球ソフトボール連盟理事
 2014 [H26] 9～ *群馬県高崎市「文化芸術センター及び新体育館建設・運営アドバイザー」
 【注】要職について、現在、継続中のものは*印記載

著書

「努力は裏切らない」/幻冬舎文庫 「チームワーク」/学陽書房
 「金メダルへの挑戦」/学陽書房 「宇津木魂」/文藝春秋 「ソフトボール眼」/講談社

座長：内野 直樹 (JCHO理事)

努力は裏切らない－組織の力を強くするには－

NPO法人ソフトボール・ドリーム 理事長

ビックカメラ女子ソフトボール高崎 シニアアドバイザー

東京国際大学女子ソフトボール部総監督

宇津木 妙子

女子ソフトボールチームを、シドニーオリンピックで銀メダル、アテネオリンピックで銅メダルに導いた宇津木さんは、選手から鬼コーチとして恐れられ、かつ愛された監督でもありました。

決してメジャーとは言えず恵まれた環境には置かれていなかった女子ソフトボールという競技の中で、チームをどのように作り上げてきたのか。人を育てて組織を強くするとはどういうことか。自らの実体験に基づいた、力強い言葉をお届けします。